

今年は2回泊りの行事を予定しています。 夏の冒険学校は大津市防村で実施。冬も泊りで実施予定

もう今年も半分が過ぎてしまいました。お正月に誓った「今年の目標」、皆さんは半分実現しているでしょうか？

私の目標は①毎週きちんと筋トレ ②ラテン系の言葉を覚える ③高所登山に強い体を作ります。③として鼻の通りをよくする手術をしましたが、それ以外は0点です。

さて今年は少し早い梅雨明けで、暑い夏が始まりました。突然の梅雨明けに慌てたのか、夜中にバス停で待っている私の背中を蟬の幼虫が登ってきました。でくのぼうと思ったのでしょうか？登る木が違ふと、つまんで近くの街路樹に掴ませました。あの蟬は元気に鳴いているのかな？

今年の夏の冒険学校は坊村で実施します。明王谷の深い淵に飛び込んで泳ぐ、夜はキャンプファイヤ、朝は虫取りそしてお昼はカレーライスの野外炊飯で楽しめます。

秋のハイキングは、ドンズル峰を予定しています。冬は6年ぶりに泊まりの雪遊びを予定しています。雪の中の宿舎に泊まる予定です。

今年度の冒険学校の予定は以下の通りです。

春	クライミング	2026/4/19(日)	滋賀県 比良げんき村
夏	夏のキャンプ	2026/8/22～23(土日)	大津市立葛川少年自然の家
秋	クライミング	未定	滋賀県 比良げんき村
秋	ハイキング	2026/11/15(日)	ドンズル峰周辺
冬	雪遊び	2027/1/30～31(土日)	宿泊で実施予定

お子様、お孫さんと一緒に自然の中で遊びましょう！皆様の応募お待ちしております。

夏山シーズン外の富士登山に対する一律規制方針についての声明

山岳安全対策ネットワーク協議会

私たち山岳安全対策ネットワーク協議会は、静岡県および富士山ネットワーク会議において検討が進められている「夏山シーズン以外の富士登山を禁止するルール作り」について、強い懸念を表明するとともに、その再考を求めます。

富士山は日本を象徴する山であり、2013 年にはユネスコ世界遺産（文化遺産）リストにも登録されました。その価値は単なる観光資源に留まらず、日本人が古来より自然と向き合い培ってきた登山文化・精神文化の象徴でもあります。四季を通じて富士山に向き合う営みは、多くの登山者や山岳関係者によって長きにわたって受け継がれてきた重要な文化的実践です。

当然ながら、冬季を含む夏山シーズン外、積雪期の富士登山には雪山登山の経験・技術が必要であり、高度な危険が伴います。厳冬期（以外残雪期の事故も多い）の富士山は国内有数の厳しい山岳環境であり、十分な経験・技術・装備・判断力が不可欠です。厳冬期以外でも道路のアクセスが良い残雪期の事故も多く発生しています。私たち登山を志す者たちは、その危険性を誰よりも理解しており、無謀な登山を容認する立場では決してありません。

しかし、今回議論されているような「一律禁止」という方向性は、問題の本質的解決につながるものではなく、積み重ねられてきた日本の登山文化や、個々人が適切な準備と責任のもと自然に挑戦する権利/自由を過度に制限するものになりかねません。

また、一部報道において示された「言うことを聞かず勝手に登っている」「遭難しても自己負担がないと考えるのは安易すぎる」といった趣旨の発言については、多くの登山者や山岳関係者に対する誤解を助長する表現であり、極めて遺憾と考えます。

積雪期の富士山に登る多くの登山者は、日頃から技術訓練を重ね、登山計画書の提出、気象情報の収集、適切な装備準備、山岳保険への加入など、事故防止のための最大限の努力を真摯に行っています。しかし、実際には実力に見合っていない山で事故を起こす人も多く、無謀・登山届を提出しないルール違反登山には事故防止のための対策も必要と考えます。山岳遭難を減らすべきという目的は行政機関と共有しておりますが、その議論は登山者全体を一括りにした印象論ではなく、実態に基づく冷静かつ建設的なものであるものと捉えています。

私たちは、必要なのは「全面禁止」ではなく、「安全性を高める制度設計」であると考えます。

具体的には、

- ・冬季登山における入山届提出の厳格化
- ・多言語による注意喚起と情報発信の強化
- ・遭難救助費用負担の明確化（山岳保険加入の義務化、登山届を出さないで事故を起こした場合のペナルティなど）
- ・山岳ガイドや山小屋関係者との連携強化
- ・観光収益を活用した救助活動の体制づくり

など現実的かつ実効性のある対策を優先して議論すべきと考えます。山岳文化とは、本来自由と責任の両立の上に成り立つものです。危険が存在するからこそ、人は学び、備え、自然への敬意を育んできました。その営みを単純な禁止によって断ち切ることは、日本の登山文化の衰退にもつながりかねません。

私たち山岳安全ネットワーク協議会を構成する山岳四団体は、静岡県および富士山ネットワーク会議に対し、夏山シーズン外の富士登山に対する一律規制方針の撤回と、山岳関係者・ガイド団体・地域関係者・登山者を交えた公開性ある議論の場を設けることを強く望みます。安全対策と登山文化の継承は、決して対立するものではありません。

富士山の価値を未来へ残すためにも、現実在即した冷静で持続可能な議論が行われることに期待します。

山岳安全対策ネットワーク協議会構成団体

- ・公益社団法人日本山岳会 会長 橋本しをり
- ・公益社団法人日本山岳・スポーツクライミング協会 会長 町田幸男
- ・公益社団法人日本山岳ガイド協会 理事長 武川俊二
- ・日本勤労者山岳連盟 理事長 川嶋高志
- ・山と自然ネットワーク「コンパス」 代表 今 吏靖

2026 年 6 月 15 日

三鍋敏郎

大阪府連の大西さんのご厚意で杉山林道の大杉郡の案内を、地元のガイドの久古さんご同行で案内をしていただいた。

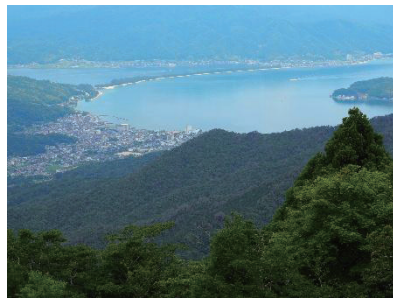
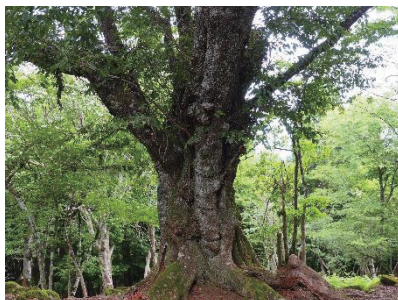
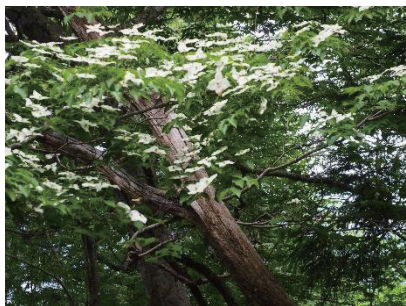
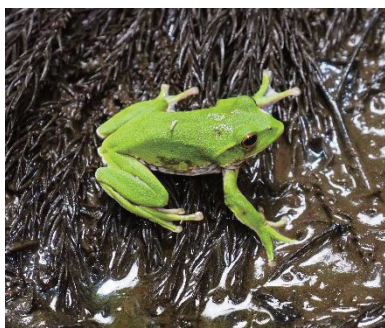
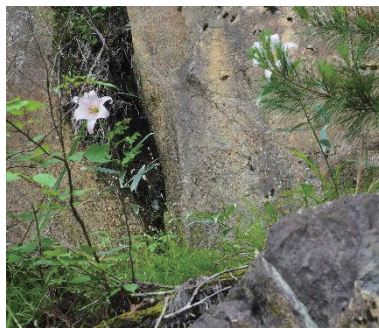
6 月 15 日（月）普甲峠で待ち合わせ。交通事情で集合時間に 15 分近く遅れて到着したが、大西、ガイドさんご両名には快く受け入れて頂いて感謝。

2 台の車に便乗し林道を進むと右手にカンラン岩の巨石があり上面に見ごろのササユリが数本咲いていた。橄欖岩は、マントルの上部を構成する岩石で、地表に現れるのはめずらしい。日本では北海道のアポイ岳、岩内岳。四国は赤石岳などに存在し、私の兄が赤石岳から標本を持ち帰ったので持ってみると非常に重かった記憶があるが、この大江山付近にも存在することに驚いた。

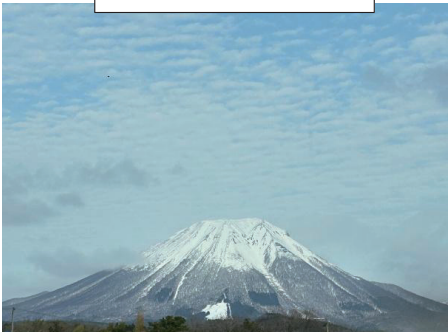
展望の良い展望台に車を置いたが、すぐ上に杉の巨木があった。杉山の天然杉群生地は駐車地から歩いて行く。次から次に現れる巨木には地元の方や小学生が思い思いのユニークな名前を付けていた。急斜面を登ると広い尾根に出る。エゴの花やヤマボウシが見ごろだった。

宇野ヶ岳は展望がよく、天橋立がある宮津湾が見渡せる。傍らにはミヤマイボタの白い花が咲いており良い香りがする。気持ちが良い場所なのでランチタイム。

ランチ後、杉山に向かう。広い尾根は歩きやすい。杉山山頂は凹凸が少なくわかりにくい。巨岩のそばにイワガラミが咲いている。杉の巨木があるというので広い山頂周辺を全員で探す、展望の良い場所があったので風景を楽しんでから、再度挑戦すると巨杉を発見。手のひらを広げたような見事な巨木の立ち姿に圧倒される。



これから本格的な雪山を目指す人のための
登山学校です。自分で、雪山テント泊山行が
計画できるレベルを目指す登山学校です。



1. 概要

- ①目標：冬山ハイキングのレベルを超えて、アイゼン
ピッケルを使った本格的な雪山を目指します
- ②募集人員：10 名程度
- ③受講資格：比良山程度の雪ハイク経験者かつテント泊3泊以上（夏冬合計で）、集団生活に
馴染める方。労基基金5口以上加入 または救助費用200万円以上の保険に加入
- ④内容：アイゼン歩行、ピッケルコンビネーション歩行、ラッセル、滑落停止、雪中テント泊
または雪洞泊、冬のナビゲーション、危険箇所の固定ロープフォローと懸垂、
- ⑤費用：約15,000円
費用は学校
装備（冬靴
装備調達
実施案を、7月末の
スタッフ会議で決
定します。
詳細は9月号に掲
載します。

2. スケジ

日程		日程	場所	実技 項目
11/09(月)	開校式/道具や冬山の生活技術	10月18日(日)	金剛山	プレ実技 長距離縦走 (注2)
11/17(火)	体力測定 実技1,2 参加者打合せ	11月21-22(土日)	蓬萊峡	実技1 テント生活・アイゼン歩行
12/01(火)	遭難事例研究(雪山入門)(注1)	12/06(日)	須磨浦公園	雪崩講習会 ビーコン講習 (注3)
12/05(土)	雪崩講習会 理論講習 (注3)	12月12-13(土日)	武奈ヶ岳	実技2 登高テスト
12/15(火)	遭難事例研究(雪山実用)(注1)	1月9-10(土日)	鈴鹿山系	実技3 雪山テント生活
1/6(水)	座学：雪山救助技術	1月15夜-17(土日)	大日ヶ岳	雪崩講習会 実技講習 (注3)
1/13(水)	冬山気象 (注1)	1月23-24(土日)	比良山	実技4 救助訓練
1/19(火)	山の病気予防 (注1)	2月6-7(土日)	湖北 乗鞍岳	実技5 ラッセル・滑落停止・雪洞
1/26(火)	雪山ナビゲーション、参加者打合せ	2月27-28(土日)	大山	実技6 修了山行
2/15(月)	修了山行 参加者打合せ			
3/8(月)	修了式			

注1：山の教室を受講 注2：長距離縦走に参加。 注1～2の行事は各自でお申し込み下さい。
実技の実施場所は、天候、積雪状況などにより変更となる場合があります。
注3：雪崩講習会はスタッフレベルの内容です。本登山学校を修了後、来年度にご参加ください。参考のため記載しました。

【申込方法】 期限 2026年10月31日 質問は、PDC00616@nifty.comに
以下のQRコードを読み込み、必要事項を記載する。

初級冬山登山学校

山の教室

長距離縦走



【主催団体】 大阪府勤労者山岳連盟 TEL 06-6467-8544 FAX 06-6467-8545
〒553-0006 大阪市福島区吉野3-2-35 一般社団法人 大阪宣伝センター機関紙会館・新館内

連盟事務所 案内図



2026百名山の輪第5回交流山行 案内

大阪労山 組織部

百名山に登りたいが自会では取り組めない、労山会員「山仲間の輪」を大切に労山会員の誰もが参加できる「百名山の輪」交流山行を企画します。

1. 山域 : 四国 徳島県剣山・愛媛県石鎚山
2. 定員 : 10名程度
3. 宿泊 : テント泊

日程	2026年10月9日(金・夜)～10月12日(月・夜)(2泊3日)
山域	四国 徳島県剣山 1955m・愛媛県石鎚山 1972m
交通	車 2台
行程 (案)	●集合 : 10/9 夜大阪駅周辺 宿泊: 瓶ヶ森キャンプ場 定員: 10名 日程: 10/9 大阪発～淡路島～徳島道～脇町IC～見ノ越駐車場 10/10 見ノ越～剣山登山口～剣山(往復)～見ノ越～車で移動 愛媛県瓶ヶ森キャンプ地 予定 10/11 瓶ヶ森～石鎚山(往復)～瓶ヶ森キャンプ地 10/12 瓶ヶ森～徳島道～淡路島～大阪帰阪
参加条件	2日間縦走で歩ける自信のある方
参加費	交通費、テント泊代

4. 行程表

※行程は参加者会議により変更する場合があります。

5. 申込書 : 下記申込書に記入のうえ 下窪 あて申込ください。

6. 申込期限 : 締め切り 8月31日 まで

7. 参加者会議 : メールにてご案内いたします。

<申込書>

第 5 回 四国 徳島県剣山・愛媛県石鎚山 百名山交流山行 申込ます。

所属クラブ	会名:
参加者	氏名: 男・女 血液 山岳保険: 口数 生年月日:
住 所	〒 携帯
アドレス	
緊急連絡先	Tel 続柄:
キャンプ地	瓶ヶ森キャンプ場を予定しております。

<申込先> 大阪労山 組織部 下窪義文(つりばし) 090-6054-9007
〒658-0032 神戸市東灘区向洋町中1-4-125-606

変更 (新) アドレス ooyam3738@gmail.com

経験を共有して、仲間を増やそう！

全国組織拡大 経験交流集会

2026



Zoom開催

10月3日(土)

13時～17時

会員拡大や会員の定着に関わる
成功や失敗の事例、苦勞を各会代表者に
発表していただきます！

こんなことを共有します！



会員拡大の工夫

新しい仲間をふやすための
取り組みやアイデアを
共有しましょう！



会員の定着の工夫

全国の取り組みを知り、
会員定着のヒント
を見つけましょう！



経験を交流し、
それぞれの組織の
力にしよう！

地方連盟の実度から
ヒントを得て、
自分たちの活動に
活かしましょう！

参加方法 Zoomでのオンライン参会

対象 全国地方連盟の役員・会員

申込方法 右のQRコードまたはURLから
お申し込みください。
(申込締切：9月25日(金))

問合せ jwaf@jwaf.jp

お申し込みはこちら！

申込フォーム (Googleフォーム)
スマートフォンで読み取って
お申し込みください。
<https://forms.gle/XDKDodXbfuceGRqx9>

※申込締切：9月25日(金)



主催：日本勤労者山岳連盟

2026 年 第3回 理事会 議事録

日時 6月25日(木) 19:00～

出席者 事務所の参加者 13 名 Zoom 参加者 10 名 委任状受理会 3 会

1. 事務局 (大見)

- ・6/13-14 全国ハイキング学校交流会 於:石川県

府連より大見事務局長、八尾の林さん参加

→安藤真由子氏による、登山寿命を延ばす歩き方とトレーニングはとても良かった。その中で女性の下山時の転倒骨折事故が多いのは、筋力不足 (2)バランス力不足 (3)足元しか見ていない。これらについては府連としても普及すべき内容と思う。

今後の予定

- ・7/4-5 全国遭難対策部員集会 →教育遭対部からは富永さん参加予定
- ・10/4 全国組織担当者交流会 於:全国連盟事務所 労山ニュース参照
- ・11/14-15 全国自然保護集会 →於:堺 浜寺公園&屯鶴峰

2. 組織部 (下窪)

- ・クラブ役員名簿の提出の件

6/25 現在では 30 会 (先月 20 会) の提出済です。

- ・【百名山の輪】の現況と予定の報告

第1回(6/19～23)の開聞岳・韓国岳は21名(12会)で実施済。

→韓国岳、開聞岳は雨風に見舞われたが高千穂峰は好天で3山を計画通りに登れた。宿泊はバンガローで風雨も気にせずに参加者交流ができ好評だった。

しかし、同山行で骨折事故が発生しました。

2日目の6/21開聞岳登頂後の下山路で、女性の方が、転んだときに右手首に左手に持っていたストックを当てて骨折してしまいました。

3日目に宮崎市内で診察レントゲンを撮り応急手当をして皆と一緒にフェリーで帰阪しています。

帰阪後大阪の病院で再診察して、6/25に吹田市民病院で手術を終えています。

事故一報が出てくると思います。

第2回(7/3～5)は大山(参加予定8名)、第3回目は(7/31-8/3)唐松・五竜(参加予定11名)、その後の計画は火打妙高、四国剣山石鎚を予定。

- ・9/3 組織担当者会議にて会員拡大について各会の情報交換や西宮山岳会の報告。その後に懇親会予定。
- ・11/7-8 第14回クラブ交流会を六甲自然の家で予定。百名山の輪の参加者へ参加要請する。

3. 女性委員会 報告なし

4. 自然保護委員会 (澤村)

- ・憲章の実践

鳥獣・ライチョウの目撃情報の条件見直し、倒木処理などの報告。

- ・クリーンハイクの結果報告。雨天のため約半数が中止。

労山活動の見える化に、“のぼり”があれば普及や宣伝に効果があるのでは

- ・11/14～15 自然保護担当者会議（大阪・浜寺公園）屯鶴峰へは貸切バスで移動を予定。

5. 子どもの冒険学校（大見）

- ・夏の冒険学校； 8月22～23日 大津市防村で実施予定。募集中

6. 海外委員会（大見）

- ・7/7 アジアの山の報告を事務局にて予定。

ネパール(メラピーク)西淀、韓国(プサン近郊の山)OAR など

7. 平和と登山委員会（大西）

- ・2026年 国民平和大行進は酷暑対策に、今年の実行は全て午前中にした。

6/24～7/7の予定。（詳細は労山ニュース参照）感想や引継ぎは記録用ノートに記入してほしい。

8. 障登PT 報告なし

9. 教育遭難対策部（大見）

- ・夏山連絡会 7/23 は理事会後に予定

- ・救助隊アンケートについて 各府県の救助隊の状況（解散は滋賀・和歌山・奈良は解散、兵庫も解散へ検討中、大阪は休止中、京都のみ活動中
その状況を踏まえて、アンケート調査をする。各会の会員にも応募を願う。

10. 中級登山学校の運営と継続について

- ・来月の理事会で現校長の朝日さんから提案される。

コーチスタッフのなり手がいないが、学校の存続には肯定的。そのギャップをどう埋めるかの議論が望む。

11. 長距離縦走委員会

- ・6/23、第2回実行委員会。参加費は倍増の2000円/人。大阪労山員は無料にすることを検討中だが、課題も多い。

12. ハイキングセミナー

- ・修了式、オプション山行の予定を報告

記：常任理事 高桑（きたろうハイキングクラブ）

冬富士登山禁止撤廃を求め、署名運動に取り組みませんか？

OWCC 中川和道 20260716

2026 年 4 月 23 日、YAMAP の記事¹⁾で気づいた。冬の富士山が登山禁止になるかもしれない、という。おいおい、11 月 23 日の連休には、労山大阪府連は大型バスを何台も仕立てて大勢で富士山に出かけ、雪上訓練に励んだものなんだ。初冬の富士山で雪山のすばらしさに目覚めた仲間も多いんだぜ。えっ？！あの時期に富士山に登ると「違法」で「罰金」になるかもだって？

びっくりして、ここ 3 ヶ月、状況を調べて来た。YAMAP の記事 4 月 23 日¹⁾に続き、東京新聞 4 月 26 日²⁾、朝日新聞 6 月 4 日³⁾、YAHOO ニュース 6 月 14 日⁴⁾などが目に飛び込んできた。登山の権利を大切にする労山には、情勢を切り開くべく、署名など強い取り組みが求められるのではないだろうかと思い、ここ 3 ヶ月、事態の推移を追ってきた。労山は、他の山岳団体とともに「強い懸念を表明するとともに、その再考を求める」という共同声明⁵⁾を 6 月 20 日に出した。もっと強い取り組みをという声も労山中央には寄せられたという。

声明だけでは不満で、もっと強い行動を求めたい中川は、鈴木岳美さんの署名⁶⁾ <https://c.org/N58nCjNpjj> に、直ちに名を連ねた。7 月 1 日山開き前に鈴木さんが提出した署名は 6065 筆。それを受けてか富士宮市長はプロなら容認し得るとの考えを示したと朝日新聞 7 月 9 日⁷⁾は報じた。さて、いったいどうなるのだろうか？プロにならないと、「違法」で罰金刑になるのかなあ・・・？

鈴木さん呼びかけの署名は 7 月 13 日現在 6409 筆で、まだまだ増殖中。労山会員 25000 人のうち、鈴木さんの署名に応じている仲間も少なくないだろう。応援したいと心から思う。

プロでなくても、積雪期の富士山に登る権利を得ることはできないものだろうか？そういう署名活動があってもいいと思うのだが、何とかならないものだろうか？この署名、ご賛同いただける方は、声を合わせて、署名していきませんか？

労山大阪でも、こういう討論を行いたいものですね。

文献

¹⁾YAMAP20260423 <https://yamap.com/moments/1656396>

²⁾東京新聞デジ 20260426 山岳救助ヘリ「有料化」すぐできない事情とは

³⁾朝日デジ 20260604 富士山「閉山中の登山禁止」 市長が主張、登山家らは反対署名…なぞ

⁴⁾Yahoo! ニュース「観光のエゴで富士山を閉めるな」閉山期の登山禁止を求める地元市長にクライマーが反論…市長は「地元として迷惑」

⁵⁾山岳安全対策ネットワーク協議 <https://jac1.or.jp/event-list/event-guide/2026062242248.html>

⁶⁾ [オンライン署名・富士山の「夏季以外の登山一律禁止」ルール化に反対します - 日本・Change.org](https://c.org/N58nCjNpjj)

⁷⁾朝日デジ 20260709 冬の富士山登山、プロは「容認しうる」 禁止求めた静岡・富士宮市長

⁸⁾朝日デジ 20260701 世界的な登山家も、天狗も安全を祈った 記者がみた富士山開山の一日

MEMO:

1. 冬の富士山は雪山愛好者やアルパインクライマーの貴重な訓練場所。登山文化として根付いている。⁷⁾によれば山野井泰史氏は 150 回以上、⁸⁾によれば天野和明氏は 250 回ほど登っている。(中川ですら 15 回以上登っている。)鈴木氏⁶⁾は、冬富士が禁止されると、こういう登山文化が日本から消滅する、と危惧する。中川も同感です。
2. 鈴木氏⁶⁾やコメント者は、富士山への登りを「観光」と「登山」とに区別し、欧米並みの入山前教育の徹底の必要を語る。興味ある論点だ。アメリカ国立公園での入山前教育が参考になる(クマ教育も含めて)と中川も思う。インターネット試験で全問正解まで何度でも受験してもらい、合格証持参で入山可、という提案もあって面白い。
3. 救助費用の有料化：(1)保険をかけておけば自分の財布は痛まないのでも有料化は歯止めにならないとの意見を聞いてびっくり。うーん、そうかなあ。(2)「金を払えば救助隊が必ず来てくれる」「保険だからヘリを呼ぼう」との見方をヒマラヤで見聞し、何という「金が全能の発想」かと、そのひどさにあきれた経験がある。こんな輩には、歯止めにならないかも。(3)溝手康史氏は、²⁾で、富士山救助の有料化は法的に難しい、と指摘する。海難事故で海上保安庁は救助費用を請求していないし、火事・救急車も費用請求はなし。登山だけを別扱いすることは法的公平性から難しい、という。
4. 一方で、明らかにマナーやルールを損なう観光者もいる。どうするべきなのか、山岳連盟としても見解が問われている。

自分のことは自分で調べて初めて分かりました クマ被害の実態と転倒事故のこと

OWCC 中川和道 20260716

山の教室 2026 年 6 月 30 日でクマ被害の講演を行った。超力作「登山者のクマによる人身被害に関する調査」¹⁾を何日もかけて読み込み、ずいぶん教えていただいた。¹⁾は、よく言われている「出会い頭が多い」や「クマ鈴は有効」などは登山者には当てはまらないとのデータだ。これまでの対策は登山者には見直されるべきであることを示唆するショッキングな内容だった。よく似た傾向を、労山大阪の事故事例集²⁾で私たちは見いだしてきた。「最多は道迷い」ではなく「最多は転倒滑落」だったのだ。対策を見直す必要が生じ、同じくショッキングだった。共通する教訓は、「自分たちの事故統計は自分たちで調べる。警察など他人の調べを引用し鵜呑みにしているだけでは自分たちの実態がわからない。対策を誤る。」ことであった。今回は、それを書いてみよう。

¹⁾は、まことに超大作だ。1949 年から 2025 年までの登山者のクマ人身被害は 179 人(含 死亡 11 人)。それらをとことんデータ分析し、もとのデータ文献もすべて書いてある。よくやって下さった。著者 fifty-nine さんに大いなるお礼を申しあげたい。分析から得られたグラフが 43 点もある。それらをもとに、中川独自の視点から掘り下げた諸点も加えて、以下、箇条書きに列挙する。著者の見解とは異なる点もあって申し訳ないが、中川個人の分析意見として受け取っていただき、読者の方々のお考えも表明しあい、互いに深めていきたい。

1. 図 10 と図 11 : 被害発生時刻別の分析 : 著者が言うとおりだ。登山者の「事故が最も多いのは 13 時台であり、15 時以降は減少する。一般に「早朝と夕方にクマの活動度が高まるので要注意」と言われているが、その時間帯の被害が特に多いわけではない。登山者の活動度の方が、被害発生頻度を決める上で影響が大きいということかもしれない。とは言っても、早朝と夕方に気をつけなくて良いという訳ではない。」
2. パーティー人数の分析 : 被害 179 人のうち、1 人パーティー(つまり単独行)が 72 件 44%と最多。2 人パーティーは 38 件 24%で 2 位。3 人 4 人 5 人の合計は 24 件 15%。「複数人パーティーであっても、話ができる位近くで行動しないと、クマとの遭遇抑止という意味では単独と変わらないだろう。」という著者の考察に中川も同意。
3. 図 30 : 被害発生環境の分析 : どこでやられたかという場所の分析だ。登山道が 98 件 61%でダントツに多く、林道 10 件遊歩道 4 件登山口付近 9 件と合わせると 121 件 75%で、普通に登山道を歩いていて被害にあっていることが分かる。著者は「山小屋付近、テント、登山口付近(計 18 件)というのは、人間の食べ物に依存したクマによるものかもしれない。これは人身被害に至る古典的なパターンであり、近年も北アルプスでテント場に出没するケースが多発している。」とする。涸沢でやられた中川も、これに賛成である。
4. 図 31 : クマの出現状況の分析 : 73 件中、出会い頭 3 件、突然・いきなり・茂み・やぶから・飛び出してきた合計 30 件(中川が合計)、ほか 28 件。著者は「クマと人の双方が予期せず近距離で遭遇する「出会い頭」が危険とよく言われるが、今回の調査でこの表現が使われているのは 3 件のみ。一方、全体の約 4 分の 1 で、クマが「突然」あるいは「いきなり」現れたと言っている。この中には、出会い頭に類するものもあるかもしれない。しかし、それとは別に、クマが先に登山者に気づいて警戒していて、登山者が気づかずに

接近して来るので仕方なく防御的攻撃を行う、という場合がかなり含まれているのではないだろうか。通常クマは登山者に気付けば黙って距離を取るはずだが、子グマ連れ等の理由ですぐに移動できない場合に、このようなことになるのかもしれない。」とする。

中川の追加意見は、登山者が気づかず接近していくのではと気になる。クマは争いをさけようと唸り声や地面をたたくなどで登山者に知らせようとするから、登山者がそれに気づく必要があると思う。クマが立ち去らず隠れるには理由がある。(1) 子グマ連れ、(2) 鹿の死骸などを備蓄した場所は守りたい、(3) けがをしている、などクマにも理由があるはずである。被害を及ぼした後に登山者をエサとして食べずに一目散に逃がっている点からも、登山者とクマ双方が互いの存在や威嚇に気づきあえば、被害は避けられると考えられる。これがないと、**登山者は、クマに「襲撃させてしまう」行動をとっていることになる。**「登山者とクマ双方が互いの存在表明や威嚇に気づきあう」技術の開発向上、これこそが今後必要な対策だと中川は強く思う。

5. 第 20 項目) 予防対策の有無の分析：やられた登山者の回答 28 件のうち、クマ鈴装着あり 13 件、クマ鈴装着なし 12 件、ヘルメット装着あり 2 件、クマスプレー装着あり 1 件。著者の見解は「予防対策の有効性を統計的に検証するには、効果があった場合となかった場合の両方のデータが必要。この調査で得られるのは効果がなかった場合のデータだけであり、それも件数が少ないので、あまり参考にならない。とはいえ、「クマ鈴を装着していた」の方が「装着していなかった」よりわずかだが多いのは、ちょっとショックではある。なお、クマ鈴についての言及が現れるのは 2005 年の記録から。」中川も同意。

中川がクマ鈴の試験をした結果と合わせてさらに考察。(1)クマ鈴を装着していたかいなかったかという問いは、実態をうまくつかめないのではないかと理由は、装着していてもなかなか鳴らないからだ。まず、(1a)装着位置が腰だと、鳴りにくかった。忍者の訓練で腰につけた鈴を鳴らさず駆け抜けるというのがあると聞いたことがある。膝がやわらかく、体がぶれない若者登山者だと、鈴は鳴らないのではないかと？中川と同僚は「私は老人でふらつきながら歩くから、ある程度は鳴りますよ」と自虐的発言をする。(1b)ストックの手の位置に鈴をつけると、鳴った。クマ鈴を装着していたのかという問いは、「**クマ鈴はちゃんと鳴っていたのにやられたのか？**」という問いに替えた方がよい。(2)クマ鈴がちゃんと鳴っていても、水音が大きい沢のそばや大風の時などは、クマに聞いてもらえない可能性があることは、しばしば指摘される。こんな場合は大音響ホイッスルで対応しようと中川は考えている。

紙面が尽きたので、これ以上の展開を今回は省略する。神戸市や兵庫県は、日本の中でもクマ対策がよく進んだ地域で、20 年にわたる取り組みが成果を上げており、人間を襲ってくるクマは、ほぼ捕獲済み教育済みであるらしい^{3,4)}。山の教室 6 月 30 日では、約 60 分を費やしての講演となった。機会があれば、ご紹介したい。

文献

¹⁾20260615 登山者のクマによる人身被害に関する調査-ヤマレコ

<https://www.yamareco.com/modules/yamanote/detail.php?nid=3986>

²⁾大阪労山「事故防止は仲間の知恵で」2021 年。

³⁾20260615 兵庫県ツキノワグマ対策連絡会議 資料 「ユニバーサルなスポーツ施設調査・検討事業」

<https://web.pref.hyogo.lg.jp/nk20/documents/dai1kaihyogokentukinowagumataisakurenrakukaigi.pdf>

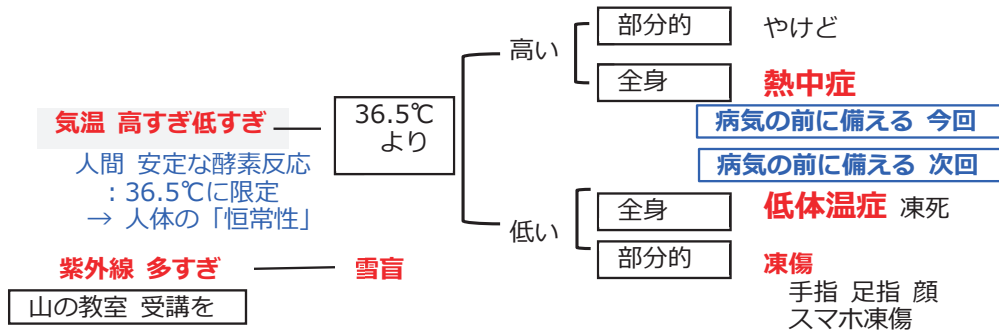
⁴⁾20251115「兵庫県が衝撃のクマ狩猟禁止 数の管理 800 頭政策の裏にある現実と課題」

<https://www.tanikawa-clinic.jp/kuma-hyogo-kanri-2025/>

夏山の事故防止：熱中症

OWCC 中川和道 20260723

1. 熱中症+低体温症 統一にとらえる試みをしています 中川



- ・低体温症：「医者の分類表」が役に立つ。36℃が私たちの0度。これで判断しよう。
震えがくる練習、鳥肌をたてる練習をしておこう。声をあげられる訓練を。会を。
- ・熱中症：「医者の分類表」は実践に役立たず：1度では手遅れ 0度の新設を

2. 熱中症を防ぐ

熱中症 0 度：夏山初級登山学校 川原健一校長の価値ある定義 →高橋理事長
「おいしい水を飲むな」：水がおいしいと思ったらすでに**熱中症 0 度**だ
医者 熱中症Ⅰ度 めまい 大汗 こむら返り→山行中止して 冷やす 飲水
熱中症Ⅱ度 おう吐 虚脱 病院へ
熱中症Ⅲ度 肝機能障害 緊急入院

OWAF の伝統を大切に守りましょう うまい水を飲むな(川原校長→高橋理事長)

体調の管理は究極の個人情報です 自己責任です

リーダーが気づいてくれる→甘いです

他人が気づけるのは、かなりの悪化後。山行は 中止：救助です

「私は今、やられかけています、危ないです」と大声で叫びましょう。何度も。

叫べるようになるとは：自立したメンバーの証です。

叫べるようになるには？

山の教室 受講を

熱中症の自覚訓練をしましょう 家族に 事前に 救助要請をしてから

夏 熱い風呂あがり：足の屈伸 100 回

熱中症注意報が出た：長シャツ長ズボンでジョギング 10 分間 汗をかく練習

⇒「これは来る！」をつかむ 倦怠感 吐き気 自律神経異常(脈 冷や汗)

中川の体験では：がまん強いことは 良くない 早く叫びましょう

実技 ①「霧吹きミスト+うちわ」作戦

中川：百丈岩で実践救助しました。

水の気化熱=580 カロリー/ g 水の比熱=1 カロリー/ g℃ より圧倒的に大きい



牛乳パック3枚ほど
振幅 1m 烈風であおぐ
まな板 座りマット
燃料としても使用可
川嶋高志さんも推奨

小さいうちわ センズ
風量足りず だめ

水：80cc 暖水沢水でも可 霧吹き：100 均で頭だけ
・そよ風に負ける細かいミストを風上からまんべんなく吹く
・水滴が垂れる前に烈風であおぎ 気化させる
牛乳パック3枚ほどをうちわに 烈風を



②「氷だけテルモス」作戦



・100 均で夏だけの長サイズ製氷皿
・1 回分の水を入れ 0℃で飲み干す
・350cc テルモスで 10 時間もつ



1. 「山の教室」 有料です ぜひ受講を

2. 大阪労山ニュース 2020 年 7 月号

山楽登山の世界 28 熱中症対策

低体温症の自覚訓練をしましょう 家族に 事前に 救助要請をしてから 山の教室 受講を

夏、水シャワー → 大型扇風機 5 分！ 歯の根があわないがたがた震え！ 叫べ！

冬：中川、冬山に備え、10 月から冷水シャワー とりはだを立てる練習を始めます
寒波注意報が出たら、短パンでジョギングを

要注意：疲れすぎると震えがないまま死に至る！（道央労山の仲間）疲れないうちに対処を

2026 年国民平和大行進

今年の平和行進は、猛暑対策もあり午前中のみの行進で 14 日間となりました。しかし、6 月 26 日は大阪に大雨警報が発令されたので、各市役所（和泉市役所、泉大津市役所、高石市役所）での集会のみでした。全体的に 14 日間、連日暑い中、大阪幹線コースを元気に歩くことができて良かったです。

大阪労山の平和行進の参加者は 91 名（去年は 69 名）でした。この 14 日間の各担当者、参加者の OWAF メーリング、ラインからの熱い報告をお読みください。ちなみに、今年も安部治さん（COWAC）、浜田敏彦さん（くまごろう）は暑い中 14 日間、全コース（中止になったコースを含む）を歩かれました。笠井ふみ子さん（八尾）は連日のように多くのコースを歩かれています。また、大阪幹線コースのあと、園さんは兵庫コースを 2 日間歩かれています。素晴らしい行動力です。

****大阪府幹線コース（兵庫県 2 コース含む）****
各コース参加者数（元大阪労山、兵庫労山含む）

◎6 月 24 日(水) 泉佐野市役所→住吉神社→貝塚市役所→岸和田市役所 3 名
◎6 月 25 日(木) 岸和田市役所→忠岡町役場→和泉市役所 5 名
◎6 月 26 日(金) 和泉市役所→泉大津市役所→高石市役所 6 名
◎6 月 27 日(土) 浜寺公園→石津太神社→みみはら地域コミュニティ棟→堺市役所 5 名
◎6 月 28 日(日) 河内長野市役所→富田林市立多文化共生人権プラザ→喜志駅 4 名
◎6 月 29 日(月) 羽曳野市役所→藤井寺市役所→松原市役所 5 名
◎6 月 30 日(火) 柏原市役所→堅下 電車移動 八尾買い物公園→八尾市内行進→桜ヶ丘公駅 8 名
◎7 月 1 日(水) 住吉区役所→あべのベルタ西側公園→大阪城・教育塔前 8 名
◎7 月 2 日(木) 大阪城・教育塔前→阪地方裁判所前・公園→南森町→都島区役所→都島本通→
→旭区役所・大宮南公園 7 名
◎7 月 3 日(金) 守口市役所→門真市役所→友呂岐公園→寝屋川市役所 8 名
◎7 月 4 日(土) 寝屋川市役所→成田山不動尊→香里団地→枚方市役所 9 名
◎7 月 5 日(日) 高槻市役所→総持寺団地→茨木市役所 8 名
◎7 月 6 日(月) 茨木市役所→摂津市役所→吹田市役所 4 名
◎7 月 7 日(火) 豊中市役所→池田市役所→兵庫県・川西市役所 8 名
◎7 月 8 日(火) 兵庫県・尼崎コース 1 名
◎7 月 9 日(火) 兵庫県・尼崎コース 2 名 累計 91 名（大阪労山）

****大阪労山各会・クラブ参加者数****

八尾 15 名 COWAC 15 名 くまごろう 14 名 泉州 9 名 きたろう 8 名 大阪スキー 6 名 ポッポ 5 名
高槻 3 名 志峰 2 名 ハイジ 2 名 つりばし 2 名 吹田 2 名 淀屋橋 1 名 このはな 1 名
エルフ 1 名 元安治川 3 名 元きたろう 2 名 兵庫労山（宝塚山の会、ホワイトピーク山岳会）2 名

OWAF メーリングでの記録、感想より

【平和行進：6 月 24 日（水）】

泉佐野市役→住吉神社→貝塚市役→岸和田市役所、予定通り行進がありました。
大阪労山参加者は 3 名でした。COWAAC（安部）、泉州（澤村）、くまごろう（浜田）

【平和行進：6 月 25 日（木）】

岸和田市役所→忠岡町役場→和泉市役所、予定通り行進がありました。

行進参加者は約 30 名。大阪労山参加者は 5 名でした。COWAAC（安部）、泉州（澤村、大西）、くまごろう（浜田）、エルフ（後藤）

大西は宮津から直行したため、行進は忠岡町役場～和泉市役所を安部さんと一緒に歩きました。安部さんはこらかも全日程を歩かれるそうです。小雨のなか、合羽の雨具姿が恰好良かったです。私も雨の中、その冷たい雨が頬にあたり気持ちよかったのが不思議でした。行進の終点・和泉市役所でエルフの後藤さんに迎えていただき嬉しかったです。

【平和行進：6 月 26 日（金）】

和泉市役所→泉大津市役所→高石市役所、午前中、和泉市、高石市に大雨警報が発令されたので行進は中止、各市役所での集会のみとなりました。それでも雨の中、安部さんは一人で和泉市役所～高石市役所まで歩かれました。素晴らしい。高石市役所での集会参加者は約 40 名。大阪労山参加者は 6 名でした。COWAAC（安部）、泉州（澤村、岩城、大西・清見・博美）、くまごろう（浜田）

6 月 27 日～7 月 7 日の平和行進も引き続きよろしくお願いいたします。自分にあった日程、時間、コースを一步でも歩いていただけたら嬉しいです。「平和あってこそ登山ができる」という労山の理念に誇りをもってこれからの平和行進に参加していきたいものです。

【平和行進：6 月 27 日（土）】

6 月 27 日の平和行進報告します（笠井）

浜寺公園→石津太神社→みみはら地域コミュニティ→堺市役所

参加行進者は約 100 名 大阪労山参加者は 5 名 泉州（澤村）、COWAAC（安部）、くまごろう（浜田）、八尾山の会（大田・笠井）、雑木（佐藤俊）

集会の時から既にどしゃ降りの雨、傘は禁止なので皆それぞれの合羽で参加宣伝カーより澄んだ歌声が絶えず聞こえてくるので歩いていても癒されました。小学生の男の子から声かけられたり、わざわざ店から出て来て手を振ってくれた爽やかな二人組のお兄さん本当にこのコース歩いて良かったです。一步でも二歩でも皆さん一緒に歩きませんか。

【平和行進：6 月 28 日（日）】

八尾山の会笠井です。6 月 28 日の平和行進報告します

河内長野市役所→汐ノ宮公園→富田林市立多文化共生人権プラザ前→喜志駅

参加者は全体で約 50 名、大阪労山参加者は 4 名でした。COWAAC（安部）、くまごろう（浜田）、大阪スキークラブ（麻野）、八尾山の会（笠井）

集会時は雨模様でしたが、そのあとは雨も降らずに行進することが出来ました。前半、地域の方が先頭の横断幕を持つ人が居ないので手伝ってと言われ、麻野さんと二人前で歩きました。汐ノ宮公園から富田林までは電車移動してプラザ前からの出発時には一気に人が減りました。日曜日なのでもっと参加者が居られるかなと思ってましたが。本日も沿道の応援も有り楽しくアツと言う間に行進終了することが出来ました

<安部さんのコメント>今年から猛暑の為、午前中の行進となりましたが、この 5 日間は雨ばかり、でも完歩めざし、あと 9 日間頑張ります。

【平和行進：6 月 29 日（月）】

八尾山の会笠井です。6 月 29 日の平和行進報告します。

参加者：全体で約 30 名 大阪労山、COWAAC（安部）、くまごろう（浜田）、淀屋橋（元橋）、大阪スキークラブ（麻野藤井寺市役所集会のみ）、八尾山の会（笠井） 計 5 名

羽曳野市役所→藤井寺市役所→松原市役所

行進初日から連続雨だったが6日目で初めて天気になったが気温も上がり湿度が高く参加者は汗びっしょりだった。宣伝カーが通れない箇所が有り、参加者は歩道を歩きながら、ただ黙々と歩くのではなく、「あきまへんコール」をしながら宣伝カーと合流するまで声を上げていった。核兵器は作ったらあきまへん、非核3原則は守らないとあきまへん等々17通り繰り返しコールをした。まだまだ行進は続きます。明日は奈良から引き継ぎ通し行進者は明日参加予定です。行進に参加される方は熱中症に気をつけて水分補給して無理の無いよう一歩でも二歩でも一緒に歩きましょう。

【平和行進：6月30日（火）】

笠井です。6月30日を報告します。

柏原市役所→八尾買い物公園→桜ヶ丘公園

参加者：全体で約100名

大阪労山：きたろう（園）、COWAC（安部）、志峰会（月野木）、くまごろう（浜田）、大阪スキークラブ（麻野）、八尾山の会（林）（浅田祐）（笠井）計8名

柏原市役所（河川敷）奈良県行進団から引き継ぎ、出発式を行い出発。堅下～八尾までは電車移動して八尾買い物公園で集会后、八尾市内を行進した。桜ヶ丘公園で流れ解散する。本日から通し行進者お二人（女性、長崎・愛知）も参加して一緒に行進しました、とても元気で爽やかな方たちです。後ろから歌声サークルの歌を聞きながら、時おり風も吹いていて歩きやすかったです。

<下記、参加者の一口コメント>

* お昼までの行進は身体に楽でした。 * 集会では元気よく歌を歌い平和を願ってデモ行進、道すがら手を振ってくれる方もいました。嬉しい！

【平和行進：7月1日（水）】

平和行進8日目の報告です（笠井ふみ子）

住吉区役所→あべのベルタ西側公園→大阪城教育塔前

参加者：約55名

大阪労山：COWAC（安部）（粕谷）、泉州（脇坂）、ハイジ（増田）、くまごろう（浜田）、大阪スキークラブ（麻野）、八尾山の会（中路）（笠井）計8名

今日のコースは行進者に対しての保険の署名が有りました。小雨の降る蒸し暑い中の行進でしたが、沿道の色々な方の温かい声援を全身で受け止めながらの行進に本当に参加して良かったと思える半日でした。毎年の事です帝塚山辺りの高木静子さんが「歓迎・国民平和行進」の横断幕を高層マンションの一室から出して応援してくれました。残す所あと一週間です、参加の皆さん体調に気を付けて無理せず歩ける範囲で参加しましょうね。

<参加者の一口コメント>

* 毎年、奈良からの引き継ぎの柏原から八尾まで歩くのですが今年は仕事で無理。今年は諦めていたところ安部さん笠井さんの頑張りに触発され住吉区役所から大阪城までのコースを歩きました。小雨の中、皆から元気を貰いました。

* 雨に降られなくて行進出来て良かった。今年も高木さんが横断幕 出してくれて嬉しかった。

【平和行進：7月2日（木）】

平和行進9日目の報告です（笠井ふみ子）

大阪城教育塔前→大阪地裁前公園→都島区役所→旭区役所大宮南公園

参加者：約50人 大阪労山：COWAC（安部）、くまごろう（浜田）、八尾山の会（笠井）

兵庫県連宝塚山の会（中原）

都島区役所から合流、ぽっぽ（村崎）、元安治川（入沢）（奥澤） 計5名

集合場所に着いたら既に通し行進者お2人は待機していました。朝方凄いい豪雨だったので集会だけと思ってましたが8時前警報が解除になったので実施された。後半35℃のジリジリ照り付ける天気になったが沿道の温かい応援に支えられ、休憩時に冷たいお茶の接待を受け本日も無事歩くことが出来ました。昨日と同じく最終は流れ解散でした。参加お疲れさまでした

【平和行進：7月3日（金）】

平和大行進10日目報告です（笠井ふみ子）

守口市役所→門真市役所→友呂岐公園→寝屋川市役所

大阪労山参加者：きたろう（園）、COWAC（安部）、ぽっぽ（村崎）、くまごろう（浜田）

このはな（志鎌）、つりばし（斎藤）、八尾山の会（笠井）、計7名

兵庫労山ホワイトピーク山岳会（岩佐）

守口市役所出発時は全体で約80名、時折り涼しい風も有るので今日は行進日和と思っていたが後半は、36℃の天気です。行事保険の署名有り。通し行進者の1人愛知からの参加三浦さん今日で58日目、ほんとに凄いですね。地域的なのか関心が無いのか分かりませんが行進中、沿道からの反応もイマイチでただ黙々と歩いていても淋しかったですね。寝屋川市役所で流れ解散。

<下記は参加者の一口コメント>

*沿道からの応援が無かったのが残念で国民が行進に関心を持って頂けるようになったら良いですね

【平和行進：7月4日（土）】

平和大行進11日目報告です（笠井ふみ子）

寝屋川市役所→成田山不動尊→香里団地→枚方市役所

労山の参加者：きたろう（園）、COWAC（安部）、ぽっぽ（村崎）、くまごろう（浜田）

つりばし（斎藤）、八尾（笠井）成田山不動尊から合流、高槻（真野）、ハイジ（上辻）香里団地より合流 きたろう（石野明さん）、計9名 元きたろう（馬場）

寝屋川市役所集会時は100名位行進に参加は85名、今日は通し行進者2人と岐阜県の通し行進者3人が横断幕を持って先頭を歩き出しそのあとに続く。集会後お婆ちゃんと一緒に参加した小学生女の子2人が少しの間、歩いてくれました。行進者の1人が隊列の先々に行き、行進者を団扇で仰いでくれたり、車の中の人からの応援、沿道からの温かい声援が行進の励みとなりました。成田山1・2km手前では車三車線にして1つを行進者の為に安全に歩かせてくれました。枚方市役所に着くころは最終40名位で雨もぽつぽつ程度で集会後解散。いよいよラストスパートに入りました、あと3日間平和を願って歩いて行きましょう。

<下記参加者の一口コメント>

*今年は参加者が多く感じる、久しぶりに行進で知り合いと会えて良かった。

*労山仲間と会えてよかった、カンカン照りで無くて歩きやすかった。

【平和行進：7月5日（日）】

平和大行進12日目報告します（笠井）

高槻市役所→総持寺団地→茨木市役所

参加者：COWAC（安部）、くまごろう（浜田）、きたろう（田中）、吹田（佐伯）、スキークラブ（麻野）、高槻（篠原清、良子）、八尾（笠井） 計8名

高槻市役所、集会時150名以上参加、「やくそくのうた」を全員で歌ってから出発しました。

今日は日曜日なので、元気に行進する子供達と一緒に歩いて本当に元気を貰いました。参加者が多いので隊列を総持寺団地に着くまでは前後2つに分けて行進、今日は参加者で20分づつの交代で労山幟を持ちました、行進の見送りだけと想い参加したが少し歩きますと言って暫く歩いてくれた人、沿道からの声援応援、平和の歌を行進中ずっと歌ってくれる等々、本当に楽しい行進でした。大した雨にも遭わず茨木市役所で流れ解散（100名位）参加の皆さんお疲れさまでした

＜下記参加者の一口コメント＞

* 平和でないと登山は出来ない * 武器よさらば！！対話でこんにちは！！平和が一番
* 参加出来るコースと言うことで歩きました。先輩の「平和だからと登山が出来る」という言葉
を再度かみしめながら歩きました。沿道からの応援が有ったり改めて行動すると何かしらの
自分の次のエネルギーを感じました。

【平和行進：7月6日（月）】

平和大行進13日目報告します（笠井）

茨木市役所→摂津市役所→吹田市役所

参加者：COWAC（安部）、くまごろう（浜田）、摂津市役所から合流（笠井）、大阪学院大
学より合流 吹田（佐伯） 計4名

茨木市役所 85名参加

雨の為か行進が摂津市役所に着くのが予定よりも少し遅れました。摂津市役所では集まった
人達全員で北部センター合唱団の方達と一緒に平和の歌を歌って行進者をお迎えしました。
雨にも負けず所々に団体の方が大勢いて応援を送ってくれました。沿道の方も皆笑顔で手を振
ってくれて本当に気持ちの良く行進が出来ました。吹田市役所集会后解散60名位。いよいよ明
日午前中で最後です。平日ですが1人でも多く参加して兵庫県連に平和のバトンを繋ぎましょ
う！！参加された皆さんボトボトになってましたが風邪引かないように、お疲れさまでした。

【平和行進：7月7日（火）】

7月7日の平和大行進報告します（笠井）

豊中市役所→池田市役所→川西市役所

参加者：COWAC（安部）、きたろう（園）くまごろう（浜田）、ぽっぽ（村崎）、志峰会（中
尾）大阪スキークラブ（麻野）、八尾（笠井）、 計7名 元安治川（入澤）

豊中市役所を約80名で出発、今日は風も有り行進日和だった池田市役所まで順番に幟を交代
しながら元気よく歩いて行った。池田市役所に着くと佐々木由紀子さんのグループが歌声で迎
えてくれた。市役所のロビーでは広島の高校生が描いた原爆の絵画展を開催していた。川西市
役所で兵庫県連に引き継ぎ全員で写真を撮り集会后今日のコースは能勢電鉄川西能勢口までな
ので一緒に行進して2026年の平和行進も無事終了した。

＜下記参加者の一口コメント＞

* 私が歩く理由：今年も核兵器廃絶と平和の願いをこめて国民平和大行進に参加し大阪府下幹
線コース14日間を歩き通しました。大阪府勤労者山岳連盟の「平和と登山」の旗を掲げ岳人
のプライドと2018年3人目の孫誕生を機に「じいじがんばるぞ」の思いで今年で9年連続完
歩です歩きながら「汝の役割にめざめよ」という言葉が頭の中を念佛のようにかけめぐりま
した。（安部）

* 通し行進安部さん、ほぼ通し行進の笠井さん麻野さん達には頭が下がります地域ごとの参加
行進者も平和を願った行動参加に勇気を頂きました核兵器廃絶めざし頑張りましょう（園）

* 戦争で平和は来ないプーチンもトランプも武力で多くの人を殺してる核廃絶を実現しよう。

（村崎）

- * 今年も少しだけ平和行進に参加出来ました「爆弾じゃなくてごはんがいい」子供の歌のように平和こそ核兵器の無い世界をめざして歩き続け伝え続けよう（麻野）
 - * 豊中市役所から初参加平和を守る行進川西まで頑張るぞ（中尾）
- 【平和行進・尼崎コース：7月8日（水）】
参加：きたろう（園）
- 【平和行進・尼崎コース：7月9日（木）】
参加：きたろう（園）、ぽっぽ（村崎）



2026. 6. 25 忠岡町～和泉市役所へ



6. 26 高石市役所で集会

2026 年 第 2 回海外登山員会報告会

2026 年 7 月 7 日に、連盟事務所で開催しました。参加者は、西淀川 4 人、OAR 2 人、豊中・YMCC・ELF・雑木からは各 1 名の総勢 10 人でした。



今回の報告は 2 件、①ネパール：メラピーク(西淀) ② 韓国 ；釜山近郊の山(OAR) でした。

① のネパールメラピークは、22 日間の行程で、トレッキング 11 日目で登頂、当日は雲一つない快晴・最高の条件でエベレストをはじめとして 360 度の素晴らしい展望を楽しめたとのことでしたが、その後は天気が悪化し下山にとっても難儀したとのことでした。登頂時の装備、食事の注意、高所順応などについて質疑がなされました。

②の韓国の山の報告では、釜山近郊の 2 つの山 智異山、金井山の紹介と、国立公園内の山小屋の予約に関して、注意事項など具体的な予約方法が紹介されました。

以下のホームページから関連した資料を見る/読むことができます。

1) メラピーク

<https://www.youtube.com/@Hiroshi.T/videos>

2) 韓国の釜山近郊の山。韓国の山小屋会の予約方法。

<https://oar.ashigaru.jp/kaigai202605korea.pdf>

なお次回の海外登山委員会は、年末に予定しています。

2026年5月1日から5日に、韓国・金井山に登りました。メンバはOAR5人、YMCC2人、ハイジ1人の合計8人でした。

今回山行の特徴

- ① 大阪南港－釜山はフェリーを利用：釜山港から釜山駅は歩いて10分、飛行機と比べ市街地へのアクセスも便利。バイキングレストラン・大浴場があり、デッキでは海を見ながら宴会もできるという開放的な雰囲気
- ② 釜山市内から日帰りハイキング
- ③ 海の街でもあり、海産物市場で新鮮な食事が楽しめた。マッコリも美味しい。

本来は韓国本土の最高峰智異山を予定していましたが、雨で金井山に変更。以下は金井山の記録です。



5月4日 10:00 梵魚寺バス停
 10:40 登山口 11:46 北門
 12:50 金井山山頂
 14:45 第4展望台 15:40 東門
 16:23 下山口 (金井山城村バス停)

記録をYAMARECOに載せましたのでご覧ください。

<https://www.yamareco.com/modules/yamareco/detail-9646648.html>

2026 第1回 百名山の輪「霧島・開聞岳」交流山行 報告

組織部:下窪義文

- ・とき 2026年6月19日～23日
- ・参加 21名(12クラブ) 吹田4・八尾3・高槻2
OAR2・淀屋橋2・きたろう2・豊中1・ハイジ1
くすのき1・溪游会1・テルル1・つりばし1
- ・宿泊先 ・かいもん山麓バンガロー3棟泊
・霧島高原国民休養地コテージ3棟泊
- ・交通 宮崎フェリー＋マイクロバスで移動



雲の上の高千穂峰を歩く

6月19日(金)神戸三ノ宮港発

6月20日(土)宮崎港～えびの高原～韓国岳(往復)～かいもん山麓公園バンガロー泊

6月21日(日)開聞山麓登山口～開聞岳(往復)～知覧茶工場見学～霧島高原休養地泊

6月22日(月)高千穂河原～高千穂峰(往復)～霧島神宮～宮崎港発

6月23日(火)神戸三ノ宮港着

<コースタイム>

6/20 韓国岳登山 行動時間 3:15

11:40 登山口～12:17 硫黄山火口展望所～13:24 韓国岳山頂～14:21 硫黄山展望所～14:55 えびの高原駐車場

6/21 開聞岳登山 行動時間 5:17 7km

6:40 登山口～7:38 五合目～8:37 仙人洞～9:18 開聞岳山頂～11:57 登山口

6/22 高千穂峰 行動時間 4:11 5.1km

7:22 高千穂河原鳥居～7:27 古宮城天孫降臨登山口～8:50 御鉢

9:26 高千穂峰山頂～10:19 御鉢～11:33 高千穂河原鳥居

第1回目の「百名山の輪」交流山行は21名の参加で大イベントとなりました。

半年前からの計画で梅雨期を心配していたが何とか無事に終えることが出来ました。

①往復フェリーを利用したこと。

②マイクロバス1台を利用したこと。

③バンガロー、コテージを利用したこと。

①～③で参加者が増え、山仲間の輪ができ、一体行動ができたことは有意義であった。

今回の交流山行で12クラブの山仲間と分かち合えたことは、大きな輪となり、今後の山人生において大きな意義ある山行であったと確信しております。大阪労山の活性化に繋がることを期待しております。

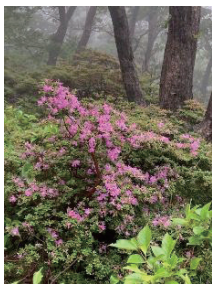
<6月20日 韓国岳報告 きたろう HC 高桑昭夫>

前夜に大阪労山12クラブの21名が神戸港を出て、早々に船内レストランで食事を兼

ねての決起集会で初見のメンバーとも交流をして、翌朝はレンタカーのマイクロバスで宮崎港を出発。いざ韓国岳へ出陣です。



登山口



ミヤマキリシマ



韓国岳山頂で

えびの高原まで、早朝と雨模様ですれ違いの車もなく無事到着。しかし、初めからレインウエアを着けての出発に少し、気が沈む。ここからはゆっくりと登り始め、途中一人の方とすれ違う。もう山頂からの下山かなとビックリ。五合目避難小屋でも風が強く、小屋の床は冠水している。先ほどすれ違った一人の方はここで引き返したようです。一人なら心寂しくもうここで諦めて引き返すのも仕方がないと思う。少しずつ高度を上げ頂上に着いたときは、凄い強風に迎えられた。山頂の岩場ではボーと立っているとバランスを崩すほどの風です。風速 20mの有無の話が出るほどの強風で、夏山の山行中でこんな強風に遭うのもめずらしく印象に残る強風の山頂でした。それでも全員がザックカバーなど何かを飛ばされることもなく下山できたのは、それなりにスキルを持ったメンバーで良かったと感謝です。桜島はもちろん遠景は白いキャンパスです。心に思い思いの絵を描き雨風を満喫した山行でした。当日の夜は開聞岳山麓の立派なバンガローで雨具などは梱包用の細ロープを張って乾かすことができたので、次の日も気持ちよくレインウエアを着ることが出来ました。これが、テント泊であれば翌日はゼロテンションだったと思います。

開聞岳山頂で ⇒

<6月21日開聞岳報告 渓流会 井上真由美>

6/21 朝 5 時に味噌汁、おにぎり、ゆで卵で朝食を各自済ませ 6:30 に雨具をつけてふれあい公園を出発、開聞岳登山口(2合目)に 6:45、雨の中展望のない道をひたすら登ります。しだやこけが雨に濡れて生き生きと美しい。開聞岳 9:54 登頂。展望もなく残念ですが、心の目で屋久島を望み行動食を取って早々下山へ。12:50 登山口にゴール。ランチは指宿鰻節を使っただし唐船峡そうめん流し。これが楽しい！美味しい！その後イッシー伝説のある池田湖を楽しむ ソーメン流しを楽しむ⇒残念ながらイッシーには会えませんでした。



14:30 リーダーご実家の知覧茶工場見学。新鮮なお茶の葉っぱが丁寧いろんな工程を経て製品に仕上がります。工場中いい香りに包まれていました。おいしいお茶とスイーツ、お土産までいただきました。昨今は抹茶ブームでお茶関係も活気があるとのことでした。

15時過ぎには青空も見えて車中から美しい開聞岳や噴煙を上げる桜島も姿を見せてくれました。夕食は宿の近くのスーパーで予約しておいた豪華刺身や地元名物さつま揚げや鳥刺しに焼き鳥、サラダ、メインは知覧茶の鹿児島豚しゃぶです。地元のイモ焼酎飲み比べもして12会21人で楽しく交流できました。



知覧茶工場見学



開聞岳



移動中に 燃える桜島に挨拶



コテージで乾杯

<6月22日 高千穂峰報告 豊中労山 薦田薫>

鹿児島山行いよいよ最終日。暴風雨の初日、雨の二日目
に続き、願いが叶い良いお天気です。池田湖で ⇒
高千穂河原の登山口から鳥居をくぐり、樹林帯を抜けると
ザレ場・ガレ場で滑りやすくなります。しばらく登ると活火山
のため現在は立ち入り禁止のお鉢が見えてきます。
初日の韓国岳は真っ白で、暴風の中、お鉢も全く見えな
かったけれど、この日は美しいお鉢を眺めながらで気分も上
がります。火口縁は馬の背と呼ばれ左右が切れ落ちており、
その分遮るものがないので展望が良く、絶景を楽しめます。もしこの山が初日だったら、
間違いなく吹き飛ばされるので引き返したことでしょう。

そこから下り、広いコルへさしかかると、霧島神宮の元宮の白い鳥居があり、もぐもぐタイ
ム。して最後のひと踏ん張りでザレ場を登りきると、日本神話の「天の逆鉾」が目に入ります。
標高 1,574m の山頂では、一面雲海が広がっていて、素晴らしい！！

南には開聞岳、北西には韓国岳の頭がのぞいていました。

各々、行動食を食べ、絶景を堪能しました。3 日間の集大成の高千穂峰山頂を後にして、
下山し始め、鳥居で振り返ると山頂はガスの中。本当に運が良かったと思いました。



池田湖で

下りはとにかくズルズル滑って危険なので、ポールを使い慎重にゆっくりと下りました。
その後日本神話の「天孫降臨」に登場するニニギノミコトを主祭神として祀っている国宝、霧島神宮へお参り。日光と似た煌びやかさ、と思ったら、やはり「西の日光」とも称されいるそうです。無事下山を感謝して、宮崎フェリーで翌日帰阪。

参加者皆さんが協力的で非常に楽しい 2026 年第 1 回目の百名山の輪となりました。

★添付写真3枚のうちのバスの前での写真は、全員の写真に合成しました！

(残念ながら病院へ行っていた高杉さんは写っていませんが)



6/22 高千穂峰山頂で1班



6/22 マイクロバスで集合



6/22 高千穂峰山頂で2班

■次に行きたい百名山はどこですか・

常念岳、笠ヶ岳、安達太良山 山小屋泊で行けるところなら挑戦したい。

北海道の山。屋久島。北海道や東北・穂高岳(ジャンダルム含み)、槍ヶ岳(小槍含み)

大朝日岳、聖岳、鷲羽岳、水晶岳 東北の山 北海道の山々 祖母山 関東東北地方
東北、北関東の山は未踏。会では飯豊山、火打・妙高がよかったという話は耳にします。

四国の剣山、次郎笈はチャンス逃して今に至ります。

劔岳が1番でしょうか。槍ヶ岳・至仏山・月山・薬師岳・鷲羽岳・北岳・南八ヶ岳・金峰山・

裏銀座ルート 塔ノ岳、雲取山です。 屋久島の宮之浦岳 日本第2峰の北岳

北海道の山々(熊に注意だけど)。

■百名山交流山行 大山・蒜山報告書 記:きたろうハイキングクラブ 高桑

2026 年度 第二回百名山の輪、伯耆大山 期日:7 月 3 日(夜)~7/5 日

参加者8名(7会から参加)。当初の計画では蒜山が先でしたが、天候予測で少しでも良い時に大山をと、2日前に予定を入れ替え、蒜山は上蒜山のみになりました。結果論としては大山、蒜山ともに天候はイマイチでしたが、大山からは時折、日本海を望めることもでき予定変更の効果と思いました。それでも、前回の開聞岳より『あの時よりはマシ』とポジティブ思考の仲間達で真っ白な景色を楽しんでいた。

●大山 報告

6:10 駐車場発→7:47 六合目避難小屋→9:06-9:50 大山山頂避難小屋→10:39 六合目避難小屋→11:28 元谷避難小屋→12:16 大神山神社→12:55 駐車場→モンベルキャンプ場
未明に南光河原駐車場に着き、車中で仮眠を取る。駐車場は空いている。5時くらいから他の登山者などが出発を始める。6時に出発して夏山登山道を登る。すれ違いや追い越しもなく六合目に着く。こんなに綺麗な小屋だったかなと思う。



もくもくと順調に頂上へと登る。頂上では駐車場で見掛けた人たちなどそれなりの賑わいを感じる。

下山は六合目までは夏山登山道を下るが、登ってくる人のすれ違いが多い。天気が良ければもっと混み合い大変だろうなと思う

六合目を過ぎ、行者谷を下る。ここを登る人は皆無で人混みの意味では快適でした。

北壁の下部に多分雪渓と思しきものを見る

7月の大山で残雪は信じられない気もするが、自然の雄大さを感じる。



元谷非難小屋も利用者は他に二人で静かな時間を過ごせるが、蛇の脱け殻を見つけちよっと盛り上がる。その後は大神山神社、大山寺をありがたく拝みながら出発点の駐車場に無事下山。

● 蒜山 報告

6:54 上蒜山駐車場→7:18 登山口→8:31 槍ヶ峰→9:13 上蒜山山頂→9:22 上蒜山三角点→9:32 上蒜山→10:02 槍ヶ峰→11:34 駐車場

キャンプ場から上蒜山駐車場へ移動して、広い駐車場には我がパーティーの2台だけ(下山後も2台だけ)天候不良の影響はすごいと思う。

立て看板には熊の生息地と表示あり。登山口から少し歩くと草むらの中で何か動くものを感じ、「熊？」と目を凝らすと茶色の物体。人？馬？近づくと放牧中のジャージー牛でした。至近距離での出会いに一同驚きの声。牛も我々を見送るかのように行き過ぎるのを見届けてくれる。

槍ヶ峰(八合目)までは丸太階段が整備され、これだけの事業に感心する。この槍ヶ峰からは中、下蒜山が展望できる尾根ですが、真っ白なキャンパスで、思い思いの景色を心に描きながら上蒜山へと登る。蒜山山頂から蒜山三角点へ行くがここでも何も見えずです。

下りは濡れているので足元を特に注意して慎重に歩く。牧場界隈では山菜採りもしながら、無事駐車場まで下山する。

● テント泊



大山下山後に時間もあるので、豪円院温泉で汗を流し、モンベルショップでビール等を買込む。キャンプ場へ向い、テント設営の実習。雨も止んでいましたが、張り終えるぐらいからシトシトと降ったり止んだりで久々のテント泊の方には残念な天気です。それでもそれぞれが手際よく設営できました。

食事は8人が一つのテントで寄せ鍋を頂き、お淑やかな鍋奉行の采配で余すことなく見事完食する。手捌きに一同感服する。

併せて、持ち寄ったお酒の相乗効果でこんな楽しい、テント泊は小生もコロナ禍後ではあまりない。コロナ過中では出来なかったことが今はできる。いい時代に戻ってきたのかなと思う。そして、これが続いて欲しいと思う。

●グルメ

二日目の上蒜山の下山後に昼時でもあるので、蒜山＝ジンギスカンのノリで店を手際よく見つけて頂き、移動。目を見張る 200g/人の肉盛りには不安がよぎる。でも勢いってすごいです。全員満腹の完食。それでも帰阪の車中でアイスクリームが食べたかったと悔いを残す言葉があるぐらい充実した2日間だったと思う。

<豊中労山 スタッフ薦田 薫>

①お天気の良くない中の登山について

雨は覚悟していたので、よほどの大雨でない限り決行するものと思っていました。大山では登頂まで降らず下山時で小雨にあったこと、上蒜山でも始終小雨程度で済んだこと、無事登頂できたこと、全てラッキーだったと思っています。

②テント生活

今回、初ソロテントでした。自力で設営も撤収もできたので、なかなか上出来だったのではと思います。写真を撮り忘れたのが残念でした。

③大山・蒜山山行の感想

・何度も機会を逃し、今回やっと大山に初登頂。これが北壁かと感慨深く、次回は雪山でチャレンジしたいなと思いました。
・蒜山は全く視界ゼロ、縦走でなく上蒜山ピストンに変更になりましたが、登山口に沢山ワラビが生えていて、山菜取りをして、ジンギスカンを食べて帰るとい
う、楽しいおまけつきでした。

④百名山 19 座目です♪

<女性ハイキングクラブハイジ 柏原庸子>

①雨天の登山…景色が見れなくても、悪条件の中でも仲間と登頂出来た達成感が私は素直に嬉しくより思い出として強く残ります。

②テント泊…自分用のテントが無いので、いつも下窪さんやテントをお持ちの方にお世話になり申し訳なく肩身が狭いですが、個人的にはテント泊は大好きです。理由は他会の方々と親しくなれるし、持ち物や協同食などで勉強になり、助け合える場面が多いので交流としては最適かと思っています。ただ自分が高齢化し、重い荷物が背負えないので、下窪さんやスタッフの方に心苦しいのと感謝でいっぱいです。自分でも分担出来るように頑張ります。

雨でしたが大山、上蒜山の二座に全員で登頂出来て本当に嬉しかったです！テント泊での協同食のお鍋や下山後のジンギスカンもボリュームがありとても美味し

かったです。牧場で牛も見れたし、ワラビも沢山採れました。スタッフ兼運転手をしてくださった、下窪さん、高桑さん、薦田さん、そして一緒に山行をした皆様、楽しい山行を本当にありがとうございました。

④百名山の数…14 座（前回と同じですが初めて上蒜山に登れて嬉しかったです！）

⑤次に行きたい百名山…北海道や東北、沖縄（出来れば縄文杉も）などで体力的に登れそうな山。ハイジでは行けそうにないので。

<雑木の会 中條加奈子>

中学の先生が大山出身で「大山はいい山だから一度は登って」と言われ、登りたかった山です。50 年来の宿題を果たせました。

① 大山に登りたかった（登るという行為が好き）ので、雨はさほど気になりませんでした。

② テントでの夕食交流会はこじんまりとして、自己紹介が楽しかったです。（でもロッジの方がいいかな？）鍋奉行に感謝。

③ 大山の下り、元谷（行者戸登山道）のブナの原生林のスケールの大きさに圧倒され、ずっとその中にいたいと思いました。（一番印象に残った）

④ 18座目 宮之浦岳？（屋久島）

<八尾山の会 柴田由起>

①お天気の良くない中の登山について 正直、雨の山行は好きではありません。出発前は気が重く乗り気ではなかったです。足に自信がないので、雨の下りが不安でした。折角、企画、準備して頂いたのに不満ばかりで申し訳ありません。山行を終えた今は、達成感でいっぱいです。

②テント生活はいかがでしたか。
やはり、膝が悪いので座っているのがしんどかったです。今後は、無理かも…と
思っています。今回は、広い天井の高いテントを用意して頂いたので過ごしやす
かったです。また、お鍋はとても美味しかったです、皆さんと過ごすあの時間は最
高でした。

③大山、蒜山山行についての感想は？

【大山】
念願の大山に登ることが出来て達成感でいっぱいです。階段ばかりでと聞いてい
ましたが、キツかったですが嫌いではないです。山頂近くの木道歩きは、視界が
開けて大山キャラボクの広がる風景は想像以上に良かったです。山頂からの景色
を観ることが出来なかったのは少し残念でしたが…。圧倒的な緑のブナの森にも
感激しました。

【蒜山】
天気が悪いことを覚悟しての登山だったので、一座取れたことで満足です。ま
た、思いの外、お花がたくさん咲いていて、きつい時に癒されました。機会があ
れば、三山縦走したいと思います。

④今回で百名山は何座目でしたか。 33 座目

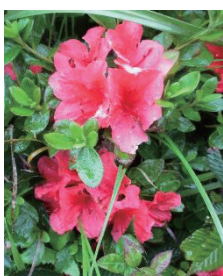
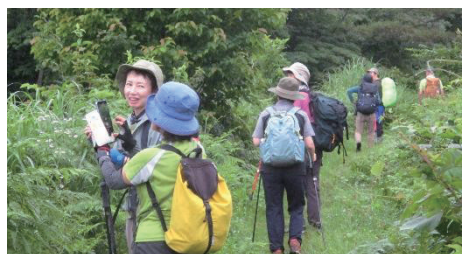
<雑木の会 山由紀>

①大雨でなかったのに登れましたが、雲に覆われて上からの景色が見れなかったのが
残念。

- ②シュラフのせいか、暑かったです。
- ③急登と階段が多くてきつかったのですが、緑が綺麗でした。
- ④5 座目くらい、富士山に登りたいです。

＜高槻労山 黒田信子＞

①雨でも楽しくよい思い出になりました。日程が決まっているので天気は選べません。天気関係なく楽しむ術を学びました。
 ②テント生活は人数よりテントが大きかったのが快適でした。中での共同食も美味しかったです。空腹は最高の調味料ですねー。
 ③大山山行は2回目ですが、前回も曇天で眺望なしでした。日本海を一望したかったのですが残念でした。登山者とのすれ違いが多く、登り易く人気の山だと思いました。蒜山縦走は出来ず残念でしたが、上蒜山に登れて良かったです。ただ帰宅して気がついたのですが、数カ所ヒルに噛まれていました(ダニではないと思います)虫除けがおそろそかなっていました。反省です。今すごく痒い(笑)
 ④10 座目くらいです。
 前回のそうめん流しに続き、今回のジンギスカン、1 度で 2 度美味しい山行でした。



写真上左から ①上蒜山登山口駐車場 ②上蒜山山頂で輪 ③ジャージー牛
 ④牧場添いの登山道 ⑤笹ユリの登山道 ⑥ツツジ ⑦ジンギスカン大将

ぶらりたび

草原のパノラマと天文台

生石高原



生石高原 秋はスキの草原が広がる



生石神社 背後に巨大な岩が迫っていて迫力がある



みさと天文台 紀美野町松ヶ峰180 / TEL073-498-0305 / 各種イベントの申し込みは要予約（実施日の30日前からみさと天文台HPより予約が可能）



生石高原の火上げ岩（ひあげいわ） 一見「断崖絶壁」だが...

和歌山県北部山間部の紀美野町と有田川町にまたがる生石高原（おいしこうげん）県立自然公園や、紀美野町のみさと天文台を訪ねる。

ンブが楽しめる。標高870mの山頂付近からのパノラマは絶景。なかでも火上げ岩は有名なフォトスポット。山頂付近に突き出た大きな岩の上から、雄大な景色を一望できる。広がる空や山並みを背景に撮影すると絶壁の岩場にいるような雰囲気である。

生石高原にはキャンプ場もあり、夜には満天の星空が広がる。気温差の大きい秋の朝は雲海が望めるチャンス。高原から生石（しゅうせき）神社へ。往復1時間程度。森の中を歩いていると、ニホンカモシカに出会った。



森で出会ったニホンカモシカ

みさと天文台（紀美野町松ヶ峰）にも足をのばしたい。87年、環境庁の「星空の町コンテスト」で、当時の美里町が日本有数の星のきれいな町に選定されたのを機に天文台を建設。95年7月7日オープンした。

口径105cmの反射

望遠鏡で本格的な星空観測が楽しめる。世界で初めて望遠鏡の映像をインターネットで配信できるシステムを備えたことでも知られる。専門家が案内する星空ツアーや施設見学ツアーも随時実施。プラネタリウム・ライブ解説、3Dシアター宇宙の旅、全天周映画上映、星空ツアーNextなど各種イベントも楽しめる、バンガローな駐車場あり

ど宿泊施設もある。「星ふるさとの結婚式」も実施できる。8mパラボラアンテナも備える。ファンクラブ「みさと友の会」があり機関紙『MPC（メガパーセク）』を発行している。

*生石高原へは車で阪和道海南東ICから国道370号を東へ進み、県道180号に入る。小川八幡神社近くの生石ヶ峰登山口と山頂に

提出日

事故一報

提出者	氏 名		会 員 番 号		地 方 連 盟	大阪府 勤労者山岳連盟
	団 体 名					団 体 番 号

事故者	氏 名		会 員 番 号		年 齢		性 別	
-----	-----	--	---------	--	-----	--	-----	--

事故発生日時	年 月 日		時 刻		☐ 有雪期 ☐ 無雪期
--------	-------	--	-----	--	---

事故発生場所	山 域			都 道 府 県	
	山 名			(標高	メートル)
	場 所				

山行の形態					
	手書きの場合は下記いずれかに○				
	無雪期登山 積雪期登山 登攀 冬季登攀 沢登り 氷瀑 人工壁 山スキー クロスカントリースキー スノーボード 海外トレッキング 海外登山 訓練				

事故の原因					
	手書きの場合は下記いずれかに○				
	転・滑落 転倒 落石(落水) 道迷い 病気 凍傷 高度障害 火傷 落雷 雪崩 虫・動植物 荒天 そ の 他				

パーティー人数		救助捜索費 ☐ あり ☐ なし	ココヘリ加入 ☐ あり ☐ なし
---------	--	---	--

事故の状況					
-------	--	--	--	--	--

傷病名					
-----	--	--	--	--	--

交付申請の予定	☐ する ☐ しない ☐ 未定	全国労山に提出とともに、大阪労山にも提出して下さい。 jikotodoke@googlegroups.com Fax 06-6467-8545
---------	---	--

交付申請書	受 取 人	☐ 基金担当者 ☐ パーティーリーダー ☐ 会・クラブ代表者 ☐ その他					
	送付形式	☐ 書面の郵送 ☐ PDFファイルのメール送信					
	送 付 先	氏 名		会 員 番 号		電 話 番 号	
		郵便番号		住 所			
		メールアドレス(メール送付の場合は必須)					

★交付申請は、事故一報が**事故発生日から30日以内**に運営委員会に届いていなければできません。時効で交付資格を失わない為に、いま症状が現れていなくても、また交付の申請をするか判明しない時でも、事故発生の報告をしましょう。FAX 03-3235-4324 メール kikin@jwaf.jp

★事故一報と共に、会に提出し受理された山行計画書のコピーを添付して下さい。

〒162-0814 東京都新宿区新小川町5-24 労山基金運営委員会 フリーダイヤル 0120-44-2742(平日10時～18時)

OWAF メーリングリストのご案内

大阪労山の公式のメーリングリスト（以下、OWAF-ML）のご紹介です。OWAF-MLには連盟行事、伝達事項の案内や、各種登山学校や訓練、講習会の案内などが流れています。その他各登山道の状況、アルプスの山小屋情報、各会入山情報など、相互の情報交換の場として利用されています。大阪府連の会員であればだれでも登録できますので是非ご加入ください。

- **登録方法** 公式な ML なので、登録は原則として各会でまとめていただいております。各会の登録担当者までご連絡をお願いします。担当が分らない場合は直接登録いただいても構いません。
- **各会登録担当者様へ**
各会、代表・事務局長・理事の方は登録必須とさせていただきます。登録担当者を含めて各役職に変更があった場合にもご連絡をお願いいたします。また退会された会員の方のアドレスもご連絡をお願いいたします。



- **登録申請フォーム** <https://ws.formzu.net/dist/S91846322/>

登録申請フォーム

- **編集後記**
(休載)

今月も各会より会報を送っていただきました。

きたろうニュース（きたろうHC）、にしよど（西淀労山）、ぼんぼん山（高槻）、こもれび通信（（山の会こもれび）、福岡県連通信、労山おかやま、やまと友の会、京都労山、噴煙（鹿児島労山）、兵庫労山会報、県連ニュース（和歌山労山）、八尾山の会

発行日 2026 年（令和 8 年）7 月 21 日 No.485（2026 年 8 月号）

編集・発行 笠井、園、高橋、中井、中尾、大西

